

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災津波。発災以来、全国そして海外からも多くの温かい励ましや御支援をいただいています。心から感謝申し上げます。この「つながり」を大切にしていきたいと思えます。

発災から 1 年以上が過ぎ、被災地では、発災直後に発生したがれきの仮置場への搬入が概ね完了し、その計画的な処理も進みつつあります。復興の道のりは険しいと思われませんが、岩手県民、心をひとつに「ふるさと岩手・三陸の再建、再生」を果たすよう、一步一步進んでいきます。そんな岩手の今を御紹介します。



4 月 25 日撮影 釜石市

【三陸鉄道・復旧工事の安全祈願】

6 月 13 日、震災で被災した三陸鉄道北リアス線小本駅～田野畑駅間 (10.5 km) の復旧工事の安全祈願が、田野畑村の島越駅跡地で行われました。

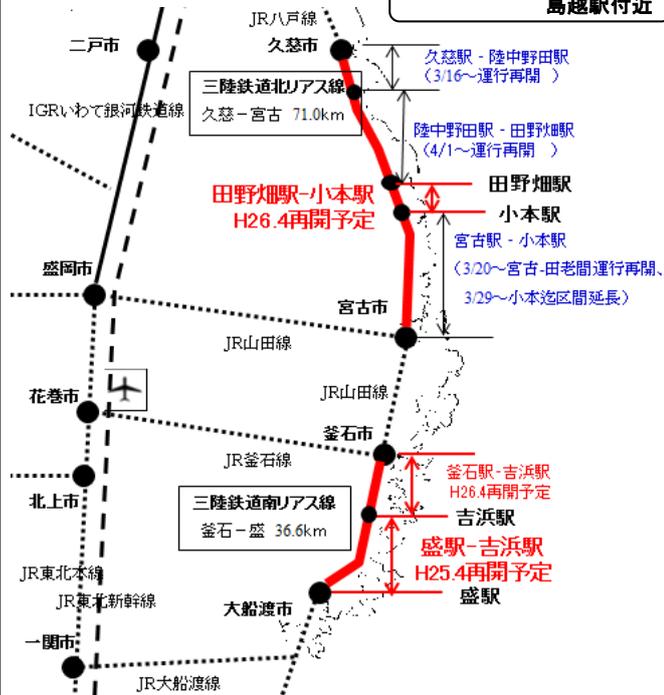
北リアス線は、津波で線路が流出される被害を受けましたが、現在は 8 割以上の区間が復旧し、宮古駅～小本駅、田野畑駅～久慈駅間で運行されています。

安全祈願が行われた島越駅付近は、駅舎や橋が流失し、三陸鉄道の区間の中で最も被害の大きかった箇所です。島越駅は元の場所より北側のトンネル付近に建設されます。

小本駅～田野畑駅間は、再来年 (平成 26 年) 4 月の運行開始を目指しています。



甚大な被害を受けた島越駅付近



また、5 月 30 日には、三陸鉄道南リアス線盛駅～吉浜駅間 (21.6 km) の復旧工事安全祈願祭が、大船渡市三陸町の南嶺 (ほれい) 駅近くで行われました。

南リアス線は、震災の影響で釜石駅から盛駅の全線で不通になっています。

今回、祈願祭が行われた盛駅～吉浜駅間は、来年 (平成 25 年) 4 月の運行再開を目指し、盛り土や橋の補修、陸前赤崎駅の既設駅舎の撤去・新設などを行っています。

【県民の健康と安全を守る！】

東日本大震災津波による原発事故で放射性物質が拡散したことにより、放射線の健康への影響について、関心が高まっています。

このようななか、岩手県では既存の組織に加えて、新たに放射線対策チームを作るなど体制を強化してきました。



岩手県環境保健研究センター 所長 滝川 義明 さん。「4 月から食品や水に含まれる放射性物質の安全基準が強化されました。県民の食の安全確保と健康を守るため、当センターでは最新鋭の機器でサンプル調査を随時行い、結果を速やかに県民にお知らせしています。」

>>>詳しくは(バックナンバー) ... <http://goo.gl/ZHKcX>
県政番組「いわて希望の一步」
第 7 回～県民の健康と安全を守る！～
(5 月 21、22、23、24、27 日放送)

皆様のご支援、ありがとうございます。

- ★義援金受付状況 (5 月 31 日現在)
約 1 7 3 億 2, 7 0 4 万円 (79,597 件)
～ 市町村を通して被災者へ配分されます ～
- ★寄付金受付状況 (5 月 31 日現在)
約 1 5 6 億 3, 3 0 6 万円 (5,246 件)
～ 県が行う復旧・復興の財源として使われます ～
- ★いわての学び希望基金受付状況 (5 月 31 日現在)
約 4 4 億 4, 8 4 9 万円 (6,743 件)
～ 被災した子どもたちが勉強やスポーツ等に励めるよう「くらし」「まなび」の支援に使われます～

岩手県の被害状況 (6 月 13 日現在)

- 人的被害 死者：4, 6 7 1 名
行方不明者：1, 2 1 8 名
- 建物被害(住家のみ、全半壊)：2 4, 8 7 7 棟

【「絆」の書の、巡回展示が始まりました】

京都・清水寺で年末に発表される、その年の世相を表す漢字として、2011年は「絆」という文字が選ばれています。

その「絆」の書をしたためた、希望郷いわて文化大使でもある森清範清水寺貫主から、被災地岩手を応援するために、このたび「絆」の書が岩手県に寄贈されました。



被災地の皆さんに見ていただくために、沿岸地区の各合同庁舎1階県民ホールで巡回展示されています。

展示期間	展示場所
5月25日～6月25日	大船渡地区合同庁舎
6月28日～7月30日	釜石地区合同庁舎
8月2日～9月3日	宮古地区合同庁舎
9月5日～10月5日	久慈地区合同庁舎

【インターネット動画、アンダーエイジの「いわてとあなたが、つながり旅」配信スタート！】

県は、震災から立ち上がる岩手の姿を全国にむけて発信するため、インターネット動画サイトを開設しました。よしもと住みます芸人のアンダーエイジが、復興に取り組む岩手の「人」を訪ねる内容で、月2本のペースで計13回の配信を予定しています。

6月4日配信の第1回は、津波到達地点を桜でつなぎ、震災の記憶を後世に伝えていこうという、「陸前高田市の桜ライン 311」の取り組みを紹介しています。

>>>配信サイトはこちら
<http://www.iwatekara.jp/>



【「社会資本の復旧・復興ロードマップ」を作成、公表しました】

県では、まちづくりに関連する社会資本の整備状況をお知らせする「社会資本の復旧・復興ロードマップ」を作成し、公表しています。

このロードマップは、**主要5分野**（①海岸、②まちづくり、③復興道路、④復興公営住宅、⑤漁港）で構成されており、被災者の生活設計や持ち家再建などの検討に役立てていただくよう、**事業の実施箇所や規模、平成30年までの工程見通し**を掲載しています。

今回公表された「総括工程表」に続き、7月下旬には「市町村別工程表」を公表予定です。

防災のまちづくり

沿岸12市町村で復興計画等を策定済（～H23年12月）

復興計画等に基づく具体的な土地利用計画、導入事業の検討

復興交付金事業等を活用した事業化

復興まちづくりの事業実施

まちづくりに関する地域住民の十分な議論に基づく合意形成

社会資本の復旧・復興ロードマップの概要（H24年6月11日公表）

公共事業の分野	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
海岸施設（一般海岸・港湾海岸） ・54海岸で堤防・水門の復旧・新設を実施	応急対策	施工準備	堤防本復旧、新設（概ね5年での完了）					
復興まちづくり（市町村施行事業含む） ・21地区で土地区画整理事業 ・43地区で防災集団移転事業 ・8地区で津波復興拠点整備事業 ・30地区で漁業集落防災機能強化事業	事業準備・住民合意		事業計画手続き等（土地計画決定等）					
			調査・設計・工事等（逐次完了し、概ね5年での完了を目指す）					
			工事進捗にあわせ順次住宅建設					
復興道路、復興支援道路 ・1路線の2箇所復興道路を整備 ・12路線の25箇所復興支援道路を整備	(新規着手)	施工準備	順次工事に着手（H30年度までに6箇所を供用予定）（逐次供用開始）					
	(工事中)	用地・工事の推進（H30年度までに20箇所を供用予定）（逐次供用開始）						
災害復興公営住宅 ・県及び市町村の全体で約5,300戸を整備	(県施行予定)	用地	設計	工事（逐次完成し、H26年度までに約3,000戸の整備を完了）				
	(市町村施行予定)	用地	設計	工事（逐次完成し、H27年度までに約2,000戸の整備を完了）				
漁港の復旧・整備 ・31の県管理漁港で防波堤、岸壁の復旧・整備を実施	施工準備		漁港災害復旧工事					
	応急対策							

>>>ロードマップの詳細はこちらをご覧ください ⇒ http://www.pref.iwate.jp/~hp0212/fukkou_net/machizukuri_main.html



いわて復興だより 第22号 平成24年6月15日

発行：岩手県復興局総務課 ☎ 019-629-6922

✉ AJ0001@pref.iwate.jp

◆復興だよりバックナンバーはこちらから →

<http://bit.ly/qBFB0z>